

第160回 ヴェルサイユ体制②



マサリク

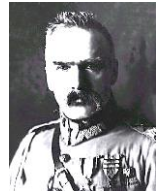
父はスロヴァキア人、母はチェク人である。

1 ヨーロッパの新しい独立国

☆ () (1918~1939年解体、1945~1993年分離)

都… () ※現在はチェコの首都

・チェック人とスロヴァキア人は、1918年にオーストリアから独立し、初代大統領にマサリクが就任した。



ピウスツキ

ポーランド建国の父。

☆ () (1918~2023年現在)

都… () ※現在もポーランドの首都

◆ () (在任 1918~1923/1926~1935年)

・1920年、ソヴィエト政権との間にポーランド=ソヴィエト戦争が起こった。

☆セルブ=クロアト=スロヴェーン王国 (1918~1929年国名変更)

・1918年、セルビアとモンテネグロに、クロアチアとスロヴェニアが加わって成立した。

☆ () (1929年国名変更~2003年解体)

都… () ※現在はセルビアの首都

・1929年に国名を変更したが、複雑な民族構成をかかえており内紛が続いた。

☆ () (1917~2023年現在)

・1917年、ロシア革命に乗じてロシアからの独立を達成した。

・()、()、()の3国がロシアから独立した。

※この3国を()という。



2 国際連盟の成立

- ・アメリカ大統領ウッドロー=ウィルソンの提唱した（ ）に基づき、平和維持につとめる国際機関である（ ）の設置が決まった。

本部…スイスの（ ）

- ・運営は、全会一致を原則として1国1票の（ ）、英・仏・伊・日の4カ国を常任理事国とする理事会、本部に置かれた連盟事務局によって行われた。
- ・付属機関として（ ）と（ ）が設置された。

<国際連盟の意義と問題点>

- ・国際連盟は、集団安全保障という新しい理念による初の平和維持機構であった。
- ・（ ）など敗戦国や、社会主義体制の（ ）は排除された。
- ・侵略国家への制裁が、経済制裁しかなかった。
- ・提唱国である（ ）が、上院の反対で国際連盟に参加しなかった。



伝統的な孤立主義に戻りつつあったアメリカは、共和党が強い上院の反対による加盟しなかった。提唱国アメリカの不参加は、国際連盟の意義を低下させた。

ウッドロー=ウィルソン大統領



国際連盟本部ビル

スイスのジュネーブには、現在も様々な国際機関の本部が置かれている。当初の加盟国は42で、最終的には60カ国が加盟した。



3 アジア・太平洋地域の体制

- ・アジア・太平洋地域では、日本の勢力が急速に拡大していた。
→日本の勢力拡大を警戒するアメリカとの関係が微妙になっていった。

- ・1921年、アメリカ大統領（ ）の提唱で、（ ）が開かれた。
- (1)アメリカ・イギリス・フランス・日本が、（ ）を結んだ。
→（ ）が決められた。
- (2)（ ）を結び、中国の独立尊重・領土保全・機会均等・門戸開放などが約束された（石井=ランシング協定は失効）。
→日本の中国進出は、（ ）以前に戻ってしまった。
- (3)（ ）が結ばれ、イギリス・アメリカ・日本・フランス・イタリアの主力艦の保有比率が、5・5・3・1.67・1.67に定められた。
※会議で決まったアジア・太平洋地域の秩序を（ ）という。



共和党の大統領。スキャンダルが多く、「史上最悪の大統領」と言われたこともあったが、近年は再評価されている。

アメリカのハーディング大統領

● 第一次世界大戦と日本の勢力拡張

